

57X
48
10

新井白石日記

甲

癸

成退酉

年公秒

日

冬至

錄

一

天德癸酉年十一月廿五日
序號五五
張春
東

入部領年
州が町は
のりて
氏りし高くも

十
子
此
心
出
お

今
洛
引
以
少
甲
持

子
退
此
其
及
其
及

一
一
一

一
一
一

一
一
一

一
一
一

一 川用の中野記
一 度席を田ありて次

一 本年中の物々月々経年
一 町中地味

伊豆之志

杉平之馬
杉平甲子
建子之馬

伊豆中一西之志
志出可又

伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

伊豆中一西之志
伊豆中一西之志

美事すむらん美事者

しんじき等の丹州建の日月十
竹虎等の可身 延世に於て
此の事連戸抄圖に延世に於て
召知少心は本年より、美候新中
延世文あり

一傳者、此の世に六つの子に
りて、多しのあし、延世に於て
り、此の世に、自延世に於て
延世に於て、延世に於て

延世に於て、延世に於て
延世に於て、延世に於て

延世に於て、延世に於て
延世に於て、延世に於て

延世に於て、延世に於て
延世に於て、延世に於て

延世に於て、延世に於て
延世に於て、延世に於て

延世に於て、延世に於て
延世に於て、延世に於て

延世に於て、延世に於て
延世に於て、延世に於て

延世に於て、延世に於て
延世に於て、延世に於て

延世に於て、延世に於て
延世に於て、延世に於て

十二月十六日儒名三益出
新規抄改行年十一年十二月
月古之積之以前自年為
沙由物議以之志也似如珠
元禄六年十二月日并為元
朕尸之奇之也
采村友之也

表多之末也指申名之也其後

流木四尺

同日

市川為方及子

是列之也少根法成之

然也知何物也

玉不淨也之也乾也的也

沙飲日少出之也

日少相之也成法之也

本思也之也明日也

其友也之也

或法也之也

之也任之也

少也志之也

如也

志也之也

也之也

清也之也

...川...
...
...

清... 賣...

羅... 未...

... 未... 或百...

... 中... 入

... 或拾...

... 拾... 友...

... 派... 下...

... 代... 令...

... 子... 下...

... 此... 取...

... 其...

... 又... 某...

... 其...

... 年... 此...

... 明... 此...

... 其...

... 其...

... 其...

... 其...

... 其...

... 其...

... 其...

... 其...

... 其...

おきよき居りのけし調候
はとて清くせつたしゆ
衣く百一換はるる清分
まら又年百転あゆ可
中ゆん世のま年流却
かひあ進法に老えん
十八七七江中せ地首己
成百月え。

淡うしうちうま時世は

物あきあふる中凡る

此れ即ちの家老中

のあき

三言好年しゆせん建初候

凡る

七言世化世中目これ

物あきあふる中凡る
此れ即ちの家老中

正し口ゆ
~~物あきあふる中凡る~~
物あきあふる中凡る

清分は二言

あきあふる中凡る

丁言衣入る清分は二

物あきあふる中凡る

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

也

丁卯年八月廿五日

たきのりやう 池のほとり
にさかすきかきとすうの
にたすきかきとすうの
あま

一 青のゆきかきとすうの
飛のゆきかきとすうの
ゆきかきとすうの

二 印のゆきかきとすうの
ゆきかきとすうの

三 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

四 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

五 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

六 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

七 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

八 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

九 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

十 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

十一 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

十二 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

十三 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

十四 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

十五 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

十六 山たかきとすうの
ゆきかきとすうの

中
一 中 道海

一 中 道海

一 中 道海

一 中 道海

一 中 道海

一 中 道海

一 中 道海

一 中 道海

一 中 道海

一 中 道海

一 中 道海

二 三

シ海ズミ...

一、
二、

シ海ス、
臣クハ海、
ク、

一、
二、
三、

一、
二、
三、

一、
二、
三、

一、
二、
三、

一、
二、
三、

一、
二、
三、

一、
二、
三、

一、
二、
三、

十言
...
...
...

十言
...
...
...

...
...
...

十言
...
...
...

...
...
...

十言
...
...
...

十言
...
...
...

十言
...
...
...

十言
...
...
...

十言
...
...
...

十言
...
...
...

十言
...
...
...

...
...
...

十百少の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

十一の年を以て其妻女

を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

本判書

活字の用

一八の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

一九の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

二十の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

今今少の年を以て

其妻女を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

一七の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

一六の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

一五の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

一四の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

一三の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

一二の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

一一の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

一〇の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

九の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

八の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

七の年を以て其妻女
を懐く其時月の中
にありて其妻の
也

Handwritten text on the right edge of the page, partially cut off.

Main body of handwritten text in the right half of the page, consisting of several vertical columns of cursive script.

A vertical line of text, possibly a section separator or a specific heading, located in the middle of the page.

Main body of handwritten text in the left half of the page, continuing the vertical columns of cursive script.

Handwritten text at the bottom left of the page, appearing as a separate section or a list of items.

のり
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

くろ
くろ
くろ
くろ

八月
くろ
くろ
くろ

Handwritten text on the right edge of the page, possibly a page number or marginal note.

八月卯...
Handwritten text in the upper right section, including the characters '八月卯'.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

Handwritten text in the upper right section, continuing the sequence of characters.

十...
Vertical handwritten text located in the middle of the page.

延州...
Vertical handwritten text located in the middle of the page.

Handwritten text in the middle section, possibly a title or section header.

Handwritten text in the middle section, possibly a title or section header.

Handwritten text in the middle section, possibly a title or section header.

Handwritten text in the middle section, possibly a title or section header.

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

廿一

廿二

廿三

廿四

廿五

廿六

廿七

廿八

廿九

三十

丁

月

ふん

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

卯

辰

巳

初

あや

あや

ハ

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

あや

一

御用

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

一

御用

了七十四名
会拾遺名志 世系年也

い今九十五名 世系年也拾遺名志
左記と四段人権坊年中言及れ其
責を兼ゆ信長公の事と後之語
尸志也仍今件一

元禄七年戊子月 以中付録

指ししる
山崎守久

録之今九十五名と云ふ所也

けの形ゆふと 板山守久
美了りて國これ可久
判九十五

十七 三つらたきぬ
十八 二物多の事
十九 海谷行方

○書と建一と云ふ事
其

十九 二つらたきぬ

二十 三つらたきぬ

二十一 四つらたきぬ

二十二 五つらたきぬ

二十三 六つらたきぬ

二十四 七つらたきぬ

二十五 八つらたきぬ

二十六 九つらたきぬ

二十七 十つらたきぬ

二十八 十一つらたきぬ

二十九 十二つらたきぬ

三十 十三つらたきぬ

六

ん

らうつん
なむり
りや
りや

ゆゆるるるるる

るるるるる

ゆゆるる